

2024 年度支援事業（ビジネスプランコンテスト）

課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）

採択ビジネスアイデア

アイデア名称 : ～地域の水環境を探索～
『水の道ボードゲーム』
採択者名 : 加藤 英之

（注）本ビジネスアイデア（原文のまま）は、採択者の希望により公表します。
本ビジネスアイデアの知的財産権は、採択者が有しています。
本ビジネスアイデアの無断転載・引用を禁止します。

2024 年 9 月 2 日

主催者 一般財団法人 水・地域イノベーション財団

ービジネスアイデアの名称

ー地域の水環境を探索ー『水の道ボードゲーム』

ー応募ビジネスアイデアで対象とする課題及び考案の経緯

日本では蛇口をひねれば当たり前のように水が出てきて直接飲むことのできる水道インフラが整備されている。これは水資源に恵まれた地理的環境や発達した水道運営があるからこそであるが、日常生活でそれらを享受しているという感覚は希薄である。そのため、地域の水環境がどのように日常生活に紐づいているのか実感する機会は少ない状況である。

ー課題解決するための現段階でのアイデア

自分たちの地域の水道水はどこからどのように届くのか（またどこへ向かうのか）を視覚的に理解できるボードゲームを遊びながら体験することで地域の水環境への意識が高まるのではないかと考えた。

現時点でボードゲームの対象となる特定の地域は考えていないため、今後、対象となる地域の水環境を含めたフィールドワークを行い、地域の水環境に詳しい方の意見を参考にしながら制作していく。

【ボードゲームの概要】

ゲームの参加者は水環境を守るためのプレイヤーとなり地域の水がどのような過程を経て各家庭に届けられているかを遊びながら体験する。

プレイヤー同士で協力しながら水環境と水道運営のトラブルを回避して、いかに安全に水を届けられるかを考えるボードゲームを想定している。

ボードゲームでは水環境のトラブルとして、洪水や濁水など対象地域で起こり得る事象を盛り込む。また水道運営のトラブルとして、水道管の老朽化や異臭など地域の特徴的な事象を盛り込む。

ーアイデアを実施する場合のスケジュール

①対象地域の情報収集：1ヶ月程度

地域の水道施設や水源、河川等の水環境を調査するためのフィールドワークを実施する。

②ボードゲームのマップ・カードを作成：2ヶ月程度

地域の特徴や水環境に関する特徴をビジュアル化しボードゲームのマップ・カードに落とし込む。

③イベント(試作体験会・ワークショップ)を実施：2時間程度のイベントを1～2回実施

地域の水環境を探索するボードゲームとして認知してもらうために、地域の教育機関や水環境に関心のある方を対象としてイベントを実施し、感想や意見を集める。

④印刷所への入稿作業：入稿後1ヶ月後を目安に完成

イベントでの感想等を元にルールや内容をブラッシュアップして印刷会社への入稿作業を行う。

※全体のスケジュールとして着手から完成までに6ヶ月程度を想定している。

ーアイデアを実施する場合に想定される主要メンバー

組織体制：基本的には提案者個人のみでの活動。

協力者：必要に応じて対象地域の水道事業体や公共機関、水環境に詳しい方からヒアリングをしながら進めていくことを想定している。